



ハトダヨ
2025年
2月号

函館市中央図書館

編集・発行

函館市中央図書館 指定管理者

図書館流通センター・マルエイヘルシーサービス共同事業体

TEL:0138-35-5500 FAX:0138-35-5525

函館市中央図書館だより

第105号 令和7年2月1日発行

予約 ランキング

予約数の多い本ランキングを紹介
します。こちらを参考に読みたい
本を探すのも一つの方法です。

令和7年1月20日現在、予約回数の多かった本をご案内しています

- | | | |
|----|------------------------|------------|
| 1 | 架空犯 | 東野 圭吾 / 著 |
| 2 | クスノキの女神 | 東野 圭吾 / 著 |
| 3 | 成瀬は天下を取りにいく | 宮島 未奈 / 著 |
| 4 | よむよむかたる | 朝倉 かすみ / 著 |
| 5 | 気の毒ばたらき | 宮部 みゆき / 著 |
| 6 | 藍を継ぐ海 | 伊与原 新 / 著 |
| 7 | わたしの知る花 | 町田 そのこ / 著 |
| 8 | 迷惑な終活 | 内館 牧子 / 著 |
| 9 | あいにくあなたの
ためじゃない | 柚木 麻子 / 著 |
| 10 | ブラック・ショーマンと
覚醒する女たち | 東野 圭吾 / 著 |

図書館俳句ポスト受賞者

10月俳句ポストへ応募された中から選ばれた作品です。お題は「冷やか(ひややか)」。

佳作

鶴鴿の昨日も今日もよき日和

練合陽子

入選

砲弾の飛びかふ空をあきつかな

安福巖

きりぎりす素手で掴めぬはいつからか

銀子

函館市中央図書館「ひな祭りイベント」

親子で
図書館へ

お 話 会 と 工 作

日時：令和7年3月1日（土）10時～11時30分
場所：中央図書館 2階大研修室
定員：こども10人（申込が必要です）
3歳から小学校低学年まで親子で参加
申込：2月14日（金）9時30分から
お電話または児童カウンターで受付

詳しくは館内のチラシ・ポスターをご覧ください



ハトダヨにしか
載っていない!

ぜひ読んでみてください!

スタッフのおすすめ本

場所：A19~21 他
請求記号：611.33 7シ

タイトル：「米ビジネス」

著者：芦垣 裕 出版社：クロスメディア・パブリッシング (2024年9月)

有名な銘柄、もしくは手ごろな価格。炊きやすい無洗米、レンジであたためるだけのパックご飯。選び方はそれぞれですが、毎日の食卓に欠かせないお米。年々消費が減っているといわれますが、実際とても関心の高いお米事情。

ビジネスの本はむずかしいと思われるかもしれませんが、気負わず、気軽に開いてみてください。お米の雑学から専門的なことまで。むずかしいことはわからないけれど、おいしいお米を選びたいひとにも。読みやすく、わかりやすい。米屋の店主のお米愛が詰まった一冊です。

場所：A19~21
請求記号：617.3 5ム

タイトル：「CHOCOLATE」

著者：ドム・ラムジー 出版社：東京書籍 (2017年12月)

チョコレートにまつわる情報を、美しい写真と洗練されたレイアウトで見せてくれる本です。歴史や産地、製造、流通、国際取引、味わい方などの解説に加え、レシピや用語集もあって、さまざまな角度からチョコレートを知ることができます。

原著はイギリスで刊行されたもので、まるでチョコレートそのものかのような装丁に、出版社の編集者が目を奪われたことが翻訳出版のきっかけになったのだそうです。寒い日が続くこの季節、温かいコーヒーを片手に、目にも美味しい本書を楽しんでみてください。

場所：A19~21
請求記号：602.11 ヤシ

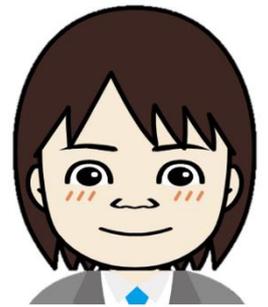
タイトル：「矢島さとしのまるごと北海道みやげの歴史」

著者：矢島 睿 出版社：中西出版 (2016年8月)

木彫りの熊や白い恋人、北海道といえばコレ!といったお土産はたくさんありますが、意外とその歴史は知られていないのではないのでしょうか。そんな北海道土産の歴史について書かれたのがこの本。近世から受け継がれてきた名産品から現代の観光ブームで生まれたものなど、多種多様なお土産の歴史について解説しています。

著者の矢島睿は長年北海道の生活文化の研究に携わっていて、2010年に本の完成を前に病で急逝しました。病室でも原稿の作成に取りかかっていた著者の熱意が詰まったこの本、お土産から北海道の歴史が見えてくる一冊です。

館長随想(三十五)



メール社会なので、仕事の最初はメールチェックをします。つい先日、「大阪万博2025特別イベントへのご招待」というメールが来て開いてみると、特別にチケットが買えて残席僅か、急いでくださいとURLが書かれてありました。よく見ると詐欺メールのようでした。

昭和には博覧会は大変多く開かれていたようで、当館のデジタル資料館で「博覧会」と入力すると様々な絵葉書データがヒットします。開道五十年記念、小樽開港博覧会、巴里万博などたくさんあります。函館で記憶に新しいのは青函博でしょうか、弁天町にあった会場でイカがビュンビュン泳いでいたのを思い出します。

万博で言えば「つくば万博」に行ったことを思い出します。親戚を頼り、初めて乗る満員電車を取り継ぎ会場に着くとそこは異世界でした。今も大手の多くの日本企業が様々なIT関連のパビリオンを出展し小学生の私は夢中でした。その当時の子ども向けのガイドブックは私の宝物で大事に取っていました。この話を未来大の先生にお話したところ、私が感動したパビリオンに学生時代にお手伝いをしにいったと話されて、あらためて感動したことがありました。

図書館も進化していて施設に本が並べてある図書館だけではなく、電子図書館やさらに発達したバーチャル図書館の試行例もあります。

AI技術の発達で一定の創造性のある文章を書くということも機械ができる時代に驚くばかりです。大阪万博のウェブサイトを見るだけでなく、新たな新しい技術があるんだろうと心躍ります。

冒頭のメールにうっかりだまされるところでした。だます手口は技術の発達によって変化しつつも、興味がそられてしまうことをうまく言う手口はまったく変わっていないのです！ああ、ひどい！万博への想いが一段と大きくなってしまいました。(館長 落合仁子)

デジタル資料館 紹介



豊川町から見た函館山 (ph600007)

今から150年ほど前、明治5年頃の写真です。デジタル資料館では画面を拡大して細部までご覧いただけます。人の姿は写っていませんが、石置き屋根や、大量の薪、大根干しなど、写真一枚から人々の暮らしの息づかいが伝わってきます。

あま～い本 はいかがですか？



2月といえばバレンタイン
今月は図書館で借りられる
スイーツの名前が
タイトルに入った本をご紹介します



バナナケーキの幸福

山口 恵以子

BFヤマ

ピンクのチョコレート

林 真理子

Fハヤ

しあわせガレット

中島 久枝

Fカ

冬季限定ボンボン
ショコラ事件

米澤 穂信

BFヨネ

ショートケーキ。

坂木 司

Fカ

なんたってドーナツ

早川 茉莉

B596.65ナソ

タルト・タタンの夢

近藤 史恵

Fコン, BFコン

さよならクリームソーダ

額賀 滯

F効

ミルク・アンド・ハニー

村山 由佳

Fムラ

バニラな毎日

賀十 つばさ

Fカ

木曜日にはココアを

青山 美智子

Fアオ, BFアオ

アイスクリン強し

畠中 恵

Fハタ, BFハタ

シュークリームパニック

倉知 淳

Fクラ

夜空に泳ぐ
チョコレートグラミー

町田 そのこ

Fマチ, BFマチ

神様のケーキを
頬ばるまで

彩瀬 まる

Fアヤ, BFアヤ

あの人もこんな甘いものが好きだったとか…

芥川龍之介 しるこ
向田邦子 水ようかん
森鷗外 饅頭茶漬け

夏目漱石 いちごジャム
川端康成 クッキー
池波正太郎 ホットケーキ

宮沢賢治 サイダー
内田百閒 ABCビスケット
皆さんのお好みのスイーツは
ありましたか？